



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 湖北工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6524 URL <https://www.kohokukogyo.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 太
問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員経理部部长 (氏名)上原 邦生 (TEL) 0749-85-3211
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	10,355	△13.0	2,295	△26.3	2,973	△27.3	1,723	△36.0
2022年12月期第3四半期	11,901	11.6	3,115	△2.4	4,088	20.6	2,693	21.2

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,337百万円(△37.0%) 2022年12月期第3四半期 3,708百万円(44.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年12月期第3四半期	円 銭 191.62	円 銭 —
2022年12月期第3四半期	304.57	300.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年12月期第3四半期	百万円 25,350	百万円 20,138	% 79.4
2022年12月期	24,285	18,296	75.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 20,138百万円 2022年12月期 18,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,490	△7.5	3,411	△12.2	3,363	△24.3	2,157	△29.7	239.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	9,000,000株	2022年12月期	9,000,000株
2023年12月期3Q	3,495株	2022年12月期	3,368株
2023年12月期3Q	8,996,576株	2022年12月期3Q	8,842,643株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アフターコロナの流れの中、小売・サービス業等の一部で改善の動きがありましたが、長期化するロシア・ウクライナ情勢や米中摩擦、中国経済の停滞、エネルギー価格の高止まりや物価上昇、欧米諸国における金融不安等様々な要因が重なり、厳しい状況が続きました。また、エレクトロニクス市場においては、個人消費の予先が、コロナ禍における巣ごもり需要から旅行などのコト消費へ移行し、テレワークなどで一時的に需要が拡大した情報通信機器市場など、極めて厳しい状況が続きました。また、民生機器市場において消費の減退に加えて中国の不動産不況に依る景気減速の影響を受けると共に、中国など一部の自動車市場の回復に時間を要しており、関連する部品市場についてもその影響を受けました。

わが国における経済は、雇用環境の改善や設備投資の回復、また株式市場も上昇傾向を辿る等、徐々に明るさが見え始めましたが、鋳工業生産が足踏み状態を続けるなど、景気回復に弱さが見られました。

電子部品業界におきましては、世界各地においてEVの販売が急速に増加するなど、自動車生産が堅調に推移しましたが、アルミ電解コンデンサなど一部の電子部品については、サプライチェーンの正常化に伴う過剰在庫の調整がありました。昨年夏から大きく落ち込んだ情報通信機器市場においては、PCやスマートフォンの需要の停滞が続いたことに加えて、各種家電製品の販売が大きく落ち込むなど、厳しい状況となりました。海底ケーブル機器市場におきましては、新たなケーブル敷設プロジェクトが発表される等、情報通信量の拡大ニーズに合わせた動きが見られたものの、一部の海底ケーブル敷設プロジェクトの遅延や変更が見られました。

こうした中、当社では、中長期的な市場の成長に備え、中国蘇州工場の移転とグローバル生産比率の最適化を進める等、サプライチェーンの強靭化を図りました。また、サイバーセキュリティ対策や災害対策等リスクマネジメント体制の強化にも取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、リード端子事業、光部品・デバイス事業ともに厳しい状況となり、売上高は10,355百万円(前年同期比13.0%減)、営業利益は2,295百万円(前年同期比26.3%減)、経常利益は2,973百万円(前年同期比27.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,723百万円(前年同期比36.0%減)となりました。当第3四半期連結累計期間における期中平均レートは、1米ドル当たり138.24円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(リード端子事業)

当第3四半期連結累計期間におけるリード端子事業の売上高は5,580百万円(前年同期比11.6%減)、セグメント利益(営業利益)は61百万円(前年同期比77.0%減)となりました。

自動車市場では、一部地域を除いて自動車生産台数が回復基調となり、中国を中心にEV化も進展しましたが、半導体不足の解消に伴う自動車生産の正常化の流れの中で、アルミ電解コンデンサにおける過剰在庫が顕在化し、在庫調整が続きました。加えて、ステイホーム需要で先食いしたデジタル・コンシューマをはじめとする民生機器市場全体の落ち込みが続き、売上は非常に厳しい状況が続きました。こうした中で、収益構造の改善や中長期的な市場の成長を視野に入れ、不採算製品についての価格見直し交渉、対振動特性や絶縁特性を大幅に改善した「バリレス」や自動車市場向けに需要の拡大が見込まれるEDLC(電気二重層キャパシタ)向け等の新製品の拡販など、収益力強化に努めました。

また、製品の品質と信頼性の向上や生産効率の改善に向け、高効率・高精度を実現する新しい溶接技術の開発に取り組みました。更には、中国蘇州工場の移転を進めると共に、中国東莞工場とマレーシア工場での生産能力の強化を進めグローバル生産体制の最適化を進めました。

(光部品・デバイス事業)

当第3四半期連結累計期間における光部品・デバイス事業の売上高は4,774百万円(前年同期比14.6%減)、セグメント利益(営業利益)は2,233百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

海底ケーブル向け光デバイス製品では、世界的な通信インフラの強化に伴う需要拡大を背景に、お客様から長期一括受注が入るなどのプラス要因がありましたが、昨年のサプライチェーンの混乱を契機とした納期調整が継続したことや、一部の海底ケーブル敷設プロジェクトの変更・遅延による受注減の影響も受けました。また、陸上光通信用ファイバレイ製品では、米中摩擦による禁輸措置に加えて、データセンタ市場の調整により売上が落ち込みました。

開発面では、さらなる情報通信量の拡大に向けた技術進展に合わせて、多芯化に対応した小型や複合製品の開発を進めました。また、将来技術であるマルチコアファイバに対応した、「シリコンフォトニクスを用いた4芯MCFコア間スイッチングモジュール(産業技術総合研究所との共同開発)」や、「海底ケーブルなど長距離通信向けの4コアファイバ用光アイソレータ」など次世代通信技術の進化に向けて、研究開発活動を強化しました。さらに、安定供給体制を強化するため、後工程拠点における生産の自動化、前工程拠点における止水対策等自然災害対策を強化しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ106百万円減少し、17,121百万円となりました。これは主に、現金及び預金が394百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が347百万円、電子記録債権が41百万円、原材料及び貯蔵品が60百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,171百万円増加し、8,229百万円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が514百万円、機械装置及び運搬具(純額)が142百万円、建設仮勘定が217百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,065百万円増加し、25,350百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ460百万円減少し、2,915百万円となりました。これは主に、買掛金が277百万円、短期借入金が95百万円、1年内返済予定の長期借入金が101百万円、未払法人税等が114百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ316百万円減少し、2,296百万円となりました。これは主に、リース債務が78百万円増加した一方で、長期借入金が443百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ776百万円減少し、5,212百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,842百万円増加し、20,138百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,229百万円、為替換算調整勘定が592百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く市場環境は従来に引き続き厳しい状況が続いておりますが、これまでにおける売上及び利益の状況や第4四半期の受注見通し、為替レートの動向などを総合的に判断し、現時点では、通期の業績について、前回(2023年8月9日公表)の予想から変更しておりません。

今後の状況を見極めながら、変更が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,363	10,758
受取手形及び売掛金	3,041	2,693
電子記録債権	994	953
製品	1,066	1,068
仕掛品	362	383
原材料及び貯蔵品	1,067	1,007
その他	332	256
流動資産合計	17,227	17,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	959	1,473
機械装置及び運搬具（純額）	2,758	2,901
工具、器具及び備品（純額）	503	495
土地	143	143
リース資産（純額）	1,609	1,682
建設仮勘定	236	454
有形固定資産合計	6,210	7,151
無形固定資産		
その他	134	296
無形固定資産合計	134	296
投資その他の資産		
投資有価証券	324	405
繰延税金資産	178	180
その他	209	194
投資その他の資産合計	711	780
固定資産合計	7,057	8,229
資産合計	24,285	25,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	684	406
短期借入金	441	345
1年内返済予定の長期借入金	676	574
リース債務	135	127
未払金	465	497
未払法人税等	615	501
賞与引当金	65	256
役員賞与引当金	30	—
その他	260	206
流動負債合計	3,375	2,915
固定負債		
長期借入金	726	282
リース債務	1,623	1,701
繰延税金負債	82	115
退職給付に係る負債	104	120
資産除去債務	66	67
その他	10	8
固定負債合計	2,613	2,296
負債合計	5,988	5,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	350	350
資本剰余金	5,648	5,648
利益剰余金	11,223	12,452
自己株式	△0	△1
株主資本合計	17,221	18,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	22
為替換算調整勘定	1,073	1,666
その他の包括利益累計額合計	1,074	1,688
純資産合計	18,296	20,138
負債純資産合計	24,285	25,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	11,901	10,355
売上原価	7,129	6,077
売上総利益	4,772	4,278
販売費及び一般管理費	1,657	1,983
営業利益	3,115	2,295
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	74
為替差益	932	712
物品売却益	16	0
その他	64	45
営業外収益合計	1,021	831
営業外費用		
支払利息	47	70
訴訟関連費用	—	50
工場移転費用	—	26
その他	1	7
営業外費用合計	48	153
経常利益	4,088	2,973
特別損失		
固定資産除売却損	1	38
減損損失	—	97
特別損失合計	1	136
税金等調整前四半期純利益	4,087	2,836
法人税、住民税及び事業税	1,346	1,095
法人税等調整額	47	17
法人税等合計	1,394	1,112
四半期純利益	2,693	1,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,693	1,723

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,693	1,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	21
為替換算調整勘定	1,003	592
その他の包括利益合計	1,015	613
四半期包括利益	3,708	2,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,708	2,337

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計 (注)
	リード端子 事業	光部品・デバイス 事業	計		
売上高					
日本	2,804	1,017	3,822	—	3,822
中国	1,355	327	1,683	—	1,683
アジア	2,113	49	2,163	—	2,163
イギリス	—	3,076	3,076	—	3,076
アメリカ	—	1,094	1,094	—	1,094
その他	39	22	61	—	61
顧客との契約から生じる収益	6,312	5,589	11,901	—	11,901
その他の収益					
外部顧客への売上高	6,312	5,589	11,901	—	11,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,312	5,589	11,901	—	11,901
セグメント利益	267	2,847	3,115	—	3,115

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計 (注)
	リード端子 事業	光部品・デバイス 事業	計		
売上高					
日本	2,589	1,101	3,690	—	3,690
中国	1,190	76	1,267	—	1,267
アジア	1,776	11	1,787	—	1,787
イギリス	—	1,753	1,753	—	1,753
アメリカ	—	1,814	1,814	—	1,814
その他	24	17	42	—	42
顧客との契約から生じる収益	5,580	4,774	10,355	—	10,355
その他の収益					
外部顧客への売上高	5,580	4,774	10,355	—	10,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,580	4,774	10,355	—	10,355
セグメント利益	61	2,233	2,295	—	2,295

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。